

No.	基本方針	No.	施策	No.	事業	実績	現行計画の現状（○）、課題（●）		
1	自転車を活用したライフスタイルの定着	1	健康増進・環境負荷低減につながる自転車の価値をPR	1	自転車の利用促進につながる広報啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ながの（駐輪場の適正利用等） ・ポスター配布（市内全高校、専門学校等） ・チラシ及びポスターの作成及びHP掲載 ・市政放送、公式YouTubeでの啓発 ・市政出前講座 	○当初の計画に従い、あらゆる媒体を活用した広報ができています。 ●前例踏襲にならないよう、広報の仕方に工夫が必要。		
				2	健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発	（施策1-1 再掲含む） ・広報ながの（駐輪場の適正利用等）（自転車を活用した効果的な身体活動・運動） ・ポスター配布（市内全高校、専門学校等） ・チラシ及びポスターの作成及びHP掲載 ・市政放送、公式YouTubeでの啓発 ・市政出前講座 ・運動講座や運動相談での情報提供 ・職場向け健康通信での啓発（自転車を活用した身体活動・運動）	○当初の計画に従い、あらゆる媒体を活用した広報ができています。 ●前例踏襲にならないよう、広報の仕方に工夫が必要。 ●健康通信を発行し、HPにも掲載しているが見せ方に工夫が必要。 ●健康教育や健康相談の場では、自転車に乗ることを勧められない人が多い。		
				3	自転車の利用促進につながるマップの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の利用促進につながるマップの検討（ウェブサイト利用検討） 	○マップの作成は、令和6年度中にウェブサイト「NAGANO CYCLING」へ地図情報を掲載するため現行計画で終了する。 ●自転車利用者が利用しやすいウェブサイトを活用した新規事業を検討する。		
		2	自転車通勤等の促進	1	自転車通勤拡大のための広報啓発	（施策1-1 再掲含む） ・広報ながの（駐輪場の適正利用等） ・ポスター及びチラシ配布（企業、公共施設） ・ポスター配布（市内全高校、専門学校等） ・チラシ及びポスターの作成及びHP掲載 ・市政放送、公式YouTubeでの啓発	○当初の計画に従い、あらゆる媒体を活用した広報ができています。 ●前例踏襲にならないよう、広報の仕方に工夫が必要。		
				2	エコ通勤運動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・FMぜんこうじでの広報（自転車通勤） ・しなの鉄道中吊り広告（エコ通勤） ・信州スマートムーブ通勤ウィークへの参加 ・市役所庁舎駐輪場の整備 	○信州スマートムーブ通勤ウィークに参加することで、ノーマイカー通勤を促し、車から自転車への転換を勧めた。 ●事業所向けのエコ通勤推進事業に係る具体的な取り組みなど対外的な周知の方法を検討。		
				3	公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・篠ノ井駅西口自転車駐車場整備 ・丹波島橋南自転車駐車場区画線工事 ・主要なバス停周辺における駐輪場整備に向けた検討 ・サイクルトレインの実施（長野電鉄） 	○既存の駐輪場の改修を順次進めている。 ●新駐輪場の整備やサイクル&ライドのための駐輪スペースの確保が課題。 ●設置してから時間が経っている駐輪場が多いため、現状の駐輪場の計画的な改修が必要。		
		2	自転車通行空間等の整備	3	通勤・通学路の重点的な整備	1	自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備	<ul style="list-style-type: none"> ・優先整備路線の詳細設計 ・千曲川新道整備 ・矢羽根型路面標示設置 	○優先整備路線から順次整備を進めているが、中・長期計画路線の中には整備に時間を要する路線もある。 ●現況の自転車交通量や周辺路線の整備状況等を考慮し、早期に高い効果が得られる路線を優先整備路線に選定する必要がある。 ●異なる道路管理者で一連の路線を所管している（交差点等）場合に、予算状況等により同時期に施工できないことがある。
						2	道路標識・道路標示の適切な設置・運用	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行部分の明示 ・自転車通行可歩道への注意喚起看板設置の検討及び設置 	○順次整備を進めている。
						3	通行空間の利用方法、マナーの周知	<ul style="list-style-type: none"> ・FMぜんこうじやHPでの啓発（矢羽根型路面表示を設置した道路における通行ルール） 	●認知度が低いと思われるので、必要に応じて新たな広報方法を検討する。
				4	目的やニーズに応じた駐輪場の整備	1	バス停周辺に駐輪スペースを設置	（施策2-3 再掲含む） ・丹波島橋南自転車駐車場区画線工事 ・主要なバス停周辺での駐輪場整備に向けた検討	○既存のバス停周辺駐輪場の整備を実施した。 ●サイクル&ライドのための駐輪スペースの確保が課題。 ●バス停周辺の駐輪場は、維持管理を含めた持続可能な整備を検討
2	市営自転車駐車場の適正な管理・運営					<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具修繕及び照明LED化工事 ・屋根改修工事、区画線工事、樹木剪定 ・ラックメンテナンス実施（長野駅、篠ノ井駅東口） ・アスベスト調査（長野駅、篠ノ井駅東口） ・避難誘導灯ランプ、誘導標識取替（長野駅、篠ノ井駅東口） 	○維持管理のための修繕等を継続的に行っている。 ○篠ノ井駅東口自転車駐車場は令和6年度に長寿命化改修を実施予定ため現行計画で終了。 ●長野駅自転車駐車場は令和7年度に長寿命化改修を予定しているため検討を続ける。		
3	鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置					<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ設置 ・サイクルスタンド設置 ・LED化工事 	○照明のLED化やサイクルスタンドの設置を進めている。 ●未実施の駐輪場への計画的な設置が必要。		

終了

No.	基本方針	No.	施策	No.	事業	実績	現行計画の現状（○）、課題（●）
3	安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進	5	段階的な交通安全教育の推進	1	世代に応じた交通安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室 研修会 体験型交通安全教室 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校を対象にしたスケアードストレート研修を実施している。 ○法改正が頻繁であり、高額なDVDの購入が難しいことからポイントを押さえたチラシ等を作成し交通安全教室時に配布して対応している。 ●交通安全教育講師の人員確保が課題
				2	自転車交通安全に対する人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 自転車安全運転指導者研修会への参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○同研修会について交通安全協会等に周知を図るなど、自転車安全運転指導者の育成を促している。 ●子どもの自転車大会の減により、指導員活動の場が減ってきている。
		6	自転車の交通安全に関する広報啓発活動の推進	1	安全な自転車利用につながる広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ルールブックの作成とHP掲載 ポスター配布（高校）保険加入等 市政番組でのPR（自転車事故のリスク、ヘルメット着用） 広報ながの（自転車利用時のルール遵守） 高齢者健康づくりフェスティバルにおける啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○メディア等を活用した啓発を実施している。 ●交通安全イベント時にヘルメット着用促進を図るため、関係機関との協力が必要
				2	交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 街頭啓発活動の実施 人波ロード作戦 バスマスクの掲出 	<ul style="list-style-type: none"> ○季別の交通安全運動啓発活動のほか、地区単位で行う啓発活動を実施している。
		7	点検整備・自転車保険の加入促進など安全通行の確保	1	自転車保険の加入促進	<ul style="list-style-type: none"> ポスター配布（高校）保険加入等 長野ケーブルテレビでの啓発（保険加入促進） 	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車保険に付帯した自転車自賠責保険制度が確立し、各学校において保険加入を実施していることから、自賠責加入が定着している。
				2	自転車の点検・整備の促進	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室での自転車の点検、整備の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車店等において点検整備を受けることで賠償責任保険（TSマーク）が付帯されることから、自転車の点検整備に合わせた保険加入の促進が必要
		8	災害時における自転車の活用推進	1	災害時における自転車活用に関する検討	<ul style="list-style-type: none"> 長野市地域防災計画へ庁用自転車等の活用を位置付け 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度の長野市地域防災計画の見直しで自転車の活用について追記した。
		4	自転車を活用した観光振興	9	自転車走行環境・サイクリスト受け入れ環境の整備	1	交通結節点等におけるサイクリストの受け入れサービスの充実
2	利用拠点における利便施設整備					<ul style="list-style-type: none"> サイクリングモデルコースを使った誘客促進 大岡住自協との意見交換（E-bike導入） 各観光協会のレンタサイクル事業への支援 長野駅周辺におけるレンタサイクル受入環境整備 サイクリングを活用したアクティビティツアー商品の造成・発信・販売支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○各観光協会のレンタサイクル事業拡充への支援、長野駅周辺におけるレンタサイクル事業を開始する見込みであり、現行計画の中にハード整備は完了する。 ●長野駅を起点とするレンタサイクル事業の利用促進や、各観光協会が行っているレンタサイクル事業の支援を検討。
10	サイクリングコースの提案等による、サイクルツーリズムの推進			1	千曲川サイクリングロードの環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 千曲川サイクリングロードの看板整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●千曲川左岸築堤工事に合わせた改修から13年が経過し、千曲川サイクリングロードの白線や看板の劣化が進んでいる。 ●誘導サイン類の設置は「Japan Alps Cycling Road」とあわせた対応が可能か検討。
				2	新たなサイクリングコースの設定と広報周知	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングモデルコースの造成 モデルコースのデジタルパンフレット化 信越高原サイクリングモデルコースの活用と誘客の促進 サイクルツーリズム専用ウェブサイトの新設 国内外の旅行会社との商談会実施 市政番組、ウェブサイトを利用した広報 「Japan Alps Cycling Project」への参画 	<ul style="list-style-type: none"> ○サイクリングモデルコースの造成は完了した。 ●完成したモデルコースを周知して活用していく必要がある。 ○「Japan Alps Cycling Road」のコースは確定し、パンフレットが完成した。 ●「Japan Alps Cycling Road」への矢羽根マーク設置、案内看板設置などの整備が必要。

終了